

# ALT（外国語指導助手）コーナー

皆さん、はじめまして。3ヶ月前にアメリカのオレゴン州から来ました魚島の新しいALT グリック・アラム・アマド・ポランシェツクです。皆さん「アマド」と呼んでください。年齢は22歳です。生まれはアメリカのカリフォニア州ですが、5歳の時からオレゴン州のポートランド市で育ちました。

私の出身地のポートランド市は、至る所に森が点在し、自然と文化が調和する町で、ダウンタウンは近代的なビルが立ち並んでいます。古くからバラの産地として知られている花と緑あふれる町です。（ちなみに札幌市とほぼ同緯度にあり、姉妹都市関係です。）

私の家族は父、母、兄の4人家族です。現在、家族はカリフォニア州に住んでいます。両親共、アメリカで誕生しましたが、祖父母は東ヨーロッパからアメリカに移住してきました。現在、両親はスペイン語が堪能で、公立学校の先生としてスペイン語圏域から来た子供達に英語を教えています。3歳年以上の兄は、カリフォニア州のある大学院で脳科学を専攻する学生として学んでいます。

私が日本語に出会ったきっかけは、高校入学時の授業において外国语を選択する必要があり、かついいとの理由のみで、友達と一緒に日本語の授業を選択しました。日本語を学んでいくとすぐに日本の歴史や文化に興味が湧いてきました。



その興味は、進学したコネチカット州の大学でも衰えることがありませんでした。日本語を学ぶ為、8ヶ月程、京都のとある大学に留学しました。それは素晴らしい経験だったと思います。自分の努力の結果として、日本語で日本人と会話することができます。（もちろん、日本の食べ物や歴史ある建築物なども大好きでした。）

魚島の子供達も、私の経験を語ることによって、英語や海外文化に興味を持つてもらい、将来、視野の広い人間になつてくれればと思います。そのお手伝いができるよう頑張ります！

最後になりましたが、時間を最大限に活用して、いろいろな場所や人に触れ合い、上島町での生活を楽しみたいと思います。今後共、皆さんよろしくお願いします！



そんな中において印象に残ったのは、弓削高校をはじめ子供達が明るく爽やかであり、私の方が勇気と元気をもらつたこと。そして、魚島の運動会に他の島から役場職員の参加があり、競技に参加するだけでなく、自主的に準備の手伝いをしてくれたことです。

「合併しても、何も良いことがない」という声は本意ではありませんが、私の心を痛めます。各島の住民が助け合う意識こそ、合併の本来の姿ではないでしょうか。特に役場職員が率先して行動に移すべきだと思いますが、私の指導力不足により未だ不十分です。ただ、今回の職員参加は、一つの光明として感謝しています。

余談ですが、運動会での子供達の踊りが素晴らしい中で、ある地域の先生の恐竜ダンスは圧巻でした。恐竜の着ぐるみをまとったジャンプは、そのまま空へ飛んで行ってしまうのかと思いました。

ここにちは 町長です

